

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 家庭 科目 家庭基礎

教科：家庭 科目：家庭基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

教科担当者：（A組：岡本・梅沢）（B組：田中・畑）（C組：梅沢・深野）（D組：岡本・畑）

使用教科書：（家庭基礎 持続可能な未来をつくる 第一学習社）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境など家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A これからの生き方と家族 【知識及び技能】青年期に見られる体と心の特徴をとらえ、本当の意味で「自立とは何か」についての知識を持っている。 【思考力、判断力、表現力等】日常のさまざまな出来事から課題意識を持ち、男女平等の立場から問題解決をはかるための対応ができる。 【学びに向かう力、人間性等】多様な人のワーク・ライフ・バランスを維持できる環境について考え、社会を変化させていく意欲が見られる。	・指導事項 ア 生涯の生活設計 イ 家族家庭と社会のかかわり ・教材 プリント	【知識・技能】家族・家庭の機能と家族関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	B 単元 次世代をはぐくむ 【知識及び技能】生まれてくる新しい命は、家族の一員としてだけでなく、社会の一員としてもかけがえのない存在であることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】子どもを生き育てることの意義について理解し、子育てにおいて何が大切であるかを判断できること。 【学びに向かう力、人間性等】子育てに関心を持ち、冷静・的確に対処できる態度が身に付いている。	・指導事項 ア 子どもの発達 イ 子どもの生活 ウ 子育て支援と福祉 ・教材 プリント	【知識・技能】生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。 【思考・判断・表現】子供の健全な発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	C 単元 充実した障害へ 【知識及び技能】生涯を見通して高齢期を捉えることができるようになる。高齢化が進んでいる実態を把握し、その原因と課題を探るとともに、やがて訪れる高齢社会のあるべき姿を思考・判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】「だれでもやがて歳をとる」という視点から、高齢化を自分自身の問題としてとらえ、意欲的に取り組む態度が見られる。	・指導事項 ア 高齢化社会を生きる イ 人生の中で高齢期をとらえる ウ 高齢化社会を支える エ 充実した高齢期へ ・教材 プリント	【知識・技能】高齢者を取り巻く社会環境について理解している。 【思考・判断・表現】高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	7
定期考査				○			1
2 学期	D 単元 ともに生きる 【知識及び技能】社会的制度、社会福祉の基本的な理念、ともに支え合って生きる社会の考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自分や身近な人が使ったことのある社会保障制度を調べ、整理・発案することができる。 【学びに向かう力、人間性等】福祉に関心を持ち、その充実向上をめざしてボランティア活動などへの参加意欲が見られる。	・指導事項 ア 社会保障制度と社会的連帯 イ 人の多様性と社会参加 ・教材	【知識・技能】生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。		○	○	6
	E 単元 衣生活をつくる 【知識及び技能】衣生活の充実・向上のための基礎的・基本的な知識を身につけ、被服のTPOをわきまえている。被服の多様化に対して、自分らしい衣生活を維持・向上していくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】被服の選択に関する基礎的・基本的な知識をもとに、衣生活の向上・実案に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】日本の衣生活が、近年、どのような変遷をたどって現代に至っているか、特に洋風化・既製服化を理解するために意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 ア 人の一生と被服 イ 衣生活と管理 ウ これからの衣生活 ・教材	【知識及び技能】被服材料について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。	○		○	12
	F 単元 住生活をつくる 【知識及び技能】住まいの機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】快適な住空間づくりについて、自分なりの課題を見出し、その解決のために取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】関心が高く、その対策を講じることに意欲をもつ。	ア 人の一生と住まい イ 住生活の計画と選択	【知識及び技能】ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。	○		○	9

